

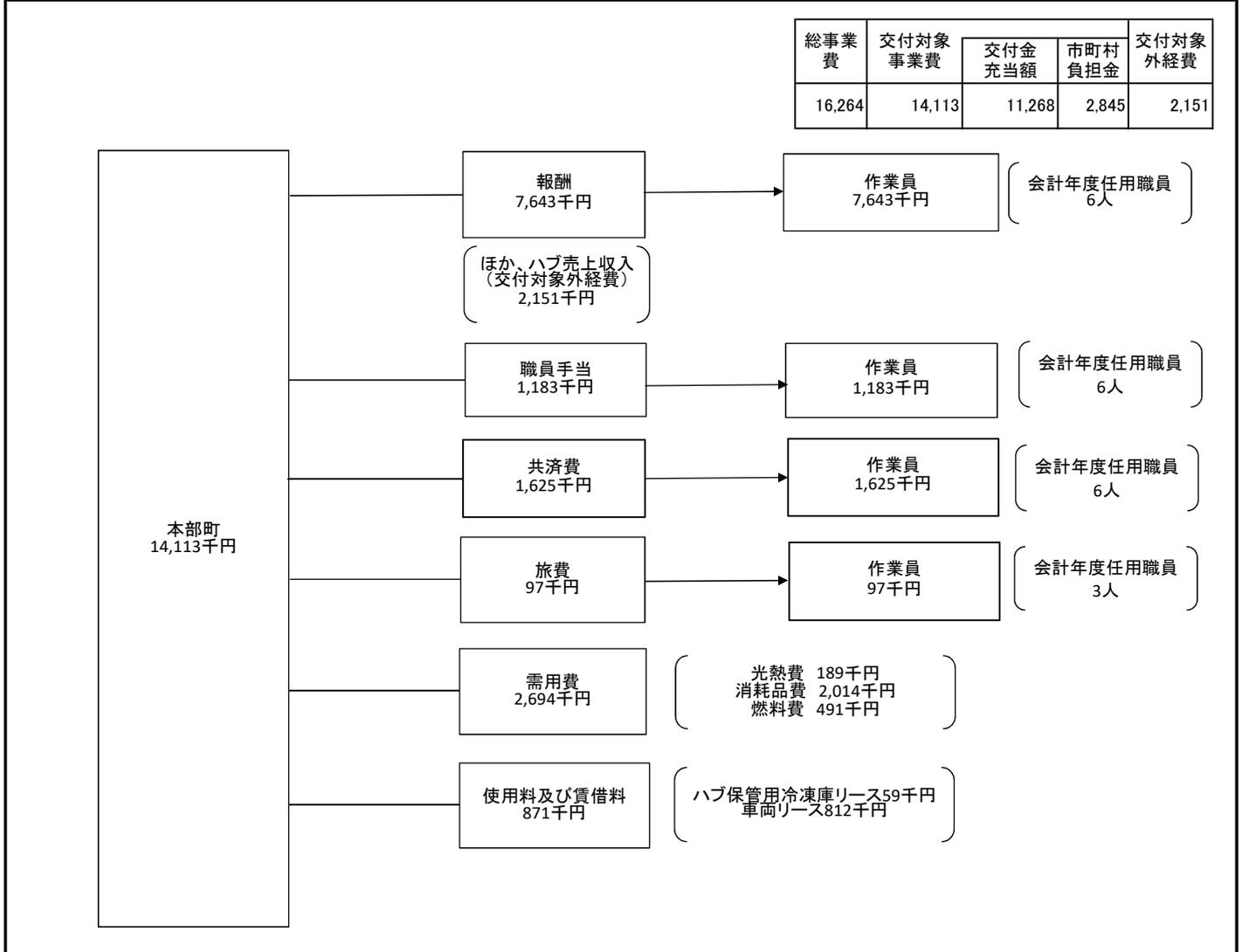
市町村名	本部町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	ハブ咬傷防止事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部署名	健康づくり推進課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	<p>台湾ハブ等の捕獲器設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、地域住民や観光客の咬傷事件を予防し、安心・安全な観光地づくりを目指す。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,128	7,878	12,573	13,914	14,086
		(b) 予算現額	8,628	7,878	12,393	13,196	14,086
		(c) 増減額(b-a)	▲ 500	0	▲ 180	▲ 718	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		8,628	7,878	12,393	13,196	14,086
	B. 執行済額		7,012	7,779	10,983	13,144	14,113
	うち交付金充当額		5,610	6,223	8,786	10,515	11,268
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		81.3%	98.7%	88.6%	99.6%	100.2%
予算の状況の説明		支出済額の増額は、捕獲したハブの売上(交付対象外経費)が見込より減少したことによるもの。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	ハブ捕獲器を町内約650カ所に設置	目標	(350カ所)	(450カ所)	(550カ所)	(650カ所)	
		実績	350カ所	450カ所	550カ所	650カ所	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・台湾ハブ等の捕獲数の多い地域や、台湾ハブ等の目撃情報や生息が懸念されている地域を重点的に、ハブの捕獲器を新たに100基設置した。(550基から650基へ増設)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	ハブによる咬傷被害件数0件	目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
		実績		2件	1件	2件	
	【参考指標】ハブ年間捕獲数	目標	()	(754匹)	(1,307匹)	(1,500匹)	()
		実績		1,024匹	1,403匹	1,436匹	
	進捗状況説明	・ハブ捕獲器を100基増設したが、町内において台湾ハブ等の咬傷被害が2件確認された。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・5月と7月にハブ咬傷被害が確認された。 ・タイワンハブ等の捕獲数が令和2年度1,403匹から令和3年度1,436匹と33匹増加した。 ・これまでタイワンハブ等の目撃や捕獲がなかった地域でも新たにタイワンハブ等が目撃・捕獲されるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイワンハブ等の咬傷被害を予防するため注意喚起を行う必要がある。 ・捕獲数が増加傾向にあるため、更なる捕獲器増設を行い、個体数の減少を図る必要がある。 ・タイワンハブ等の生息域が拡大していることが懸念されるため、目撃や捕獲があった場所周辺への捕獲設置が必要である。

今後の取り組み方針

・町ホームページや町広報誌等で注意喚起を行い、咬傷被害防止を図る。
 ・ハブ捕獲器を650基から750基に100基増設し、捕獲数の多い地域へ重点的に設置することにより個体数の減少を図る。
 ・タイワンハブ等の生息域の拡大が懸念される地域や地域住民からの情報をもとに捕獲器設置を行い、生息域の見極めを行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・作業員は書類選考及び面接により選定しており、妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、捕獲したハブの売上額が当初計画を下回ったことから交付対象経費27千円の増額があったが適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・用途についてはハブ捕獲で使用するマウスの飼料費や捕獲機購入など、事業目的達成の観点から必要なものである。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		本部町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	伝統興行観光化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア	
担当部署名	企画商工観光課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり Ⅲ-1-(1)	
事業内容	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用するため、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,079	30,761	103,082	-	115,426
		(b) 予算現額	5,078	36,367	93,256	-	70,400
		(c) 増減額(b-a)	▲1	5,606	▲9,826	-	▲45,026
		(d) 繰越額	-	-	-	82,256	-
		A. 計(b+d)	5,078	36,367	93,256	82,256	70,400
		B. 執行済額	5,078	30,057	10,021	78,554	72,396
		うち交付金充当額	4,062	24,046	8,016	62,843	56,320
		次年度繰越額	0	0	82,256	-	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	82.6%	10.7%	95.5%	102.8%
予算の状況の説明	予算の減額については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるイベントの開催縮小や工事費の圧縮に伴うもの。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	伝統興行の実施	目標	(3回)	(2回)	(0回)	(2回)	
		実績	3回	2回	0回	0回	
	もとぶ元気タ市の実施	目標	()	(48回)	(21回)	(48回)	
実績			45回	17回	0回		
達成状況説明	・伝統興行及びもとぶ元気タ市について、イベントの開催を模索したが新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベントを開催することが出来なかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	闘牛・闘山羊大会来場者数:742人	目標	()	(880人)	(533人)	(742人)	()
		実績		670人		0人	
	もとぶ元気タ市来場者数:8,784人以上	目標	()	(7,680人)	(5,376人)	(8,784人)	()
		実績		10,858人	3,031人	0人	
進捗状況説明	闘牛・闘山羊大会、もとぶ元気タ市については、開催を模索してきたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベント部分については開催できなかったため目標達成が出来なかった。						

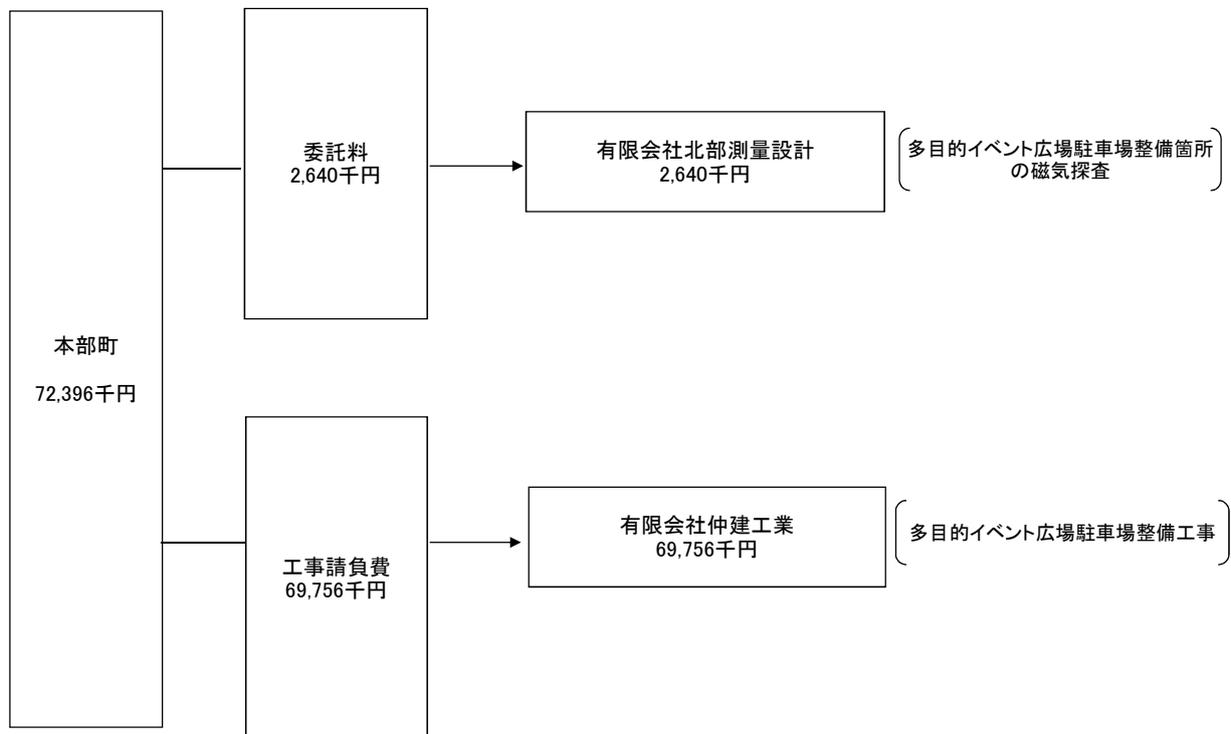
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度中は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により人が集まるイベントの開催が難しい状況であったが、ワクチン接種が進むにつれて、コロナウイルス感染による重傷者が減少傾向にあり、沖縄を訪れる観光客が戻りつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が戻りつつあるが、大型バスを利用したツアーは数少ない状況にあり、今後(コロナ禍)は個人旅行者をターゲットに集客を行う必要がある。 ・コロナ後(中長期)に向けて、旅行代理店等とのコミュニケーションを図り、団体ツアーの再開に向け準備を進める必要がある。 ・イベント広場駐車場の整備を行い、観光客の来場体制を整えた。

今後の取り組み方針

- ・観光協会及び町内宿泊業等と連携して、パッケージツアーを企画し集客を図る。
- ・各種団体のインスタグラム等のSNSを活用した集客を推進する。
- ・バスツアーの再開に向けた旅行代理店への営業活動を行い、ツアーの再開を目指す。
- ・コロナ禍でも修学旅行は本部町へ訪れていることもあり、修学旅行についても集客が出来るように推進する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

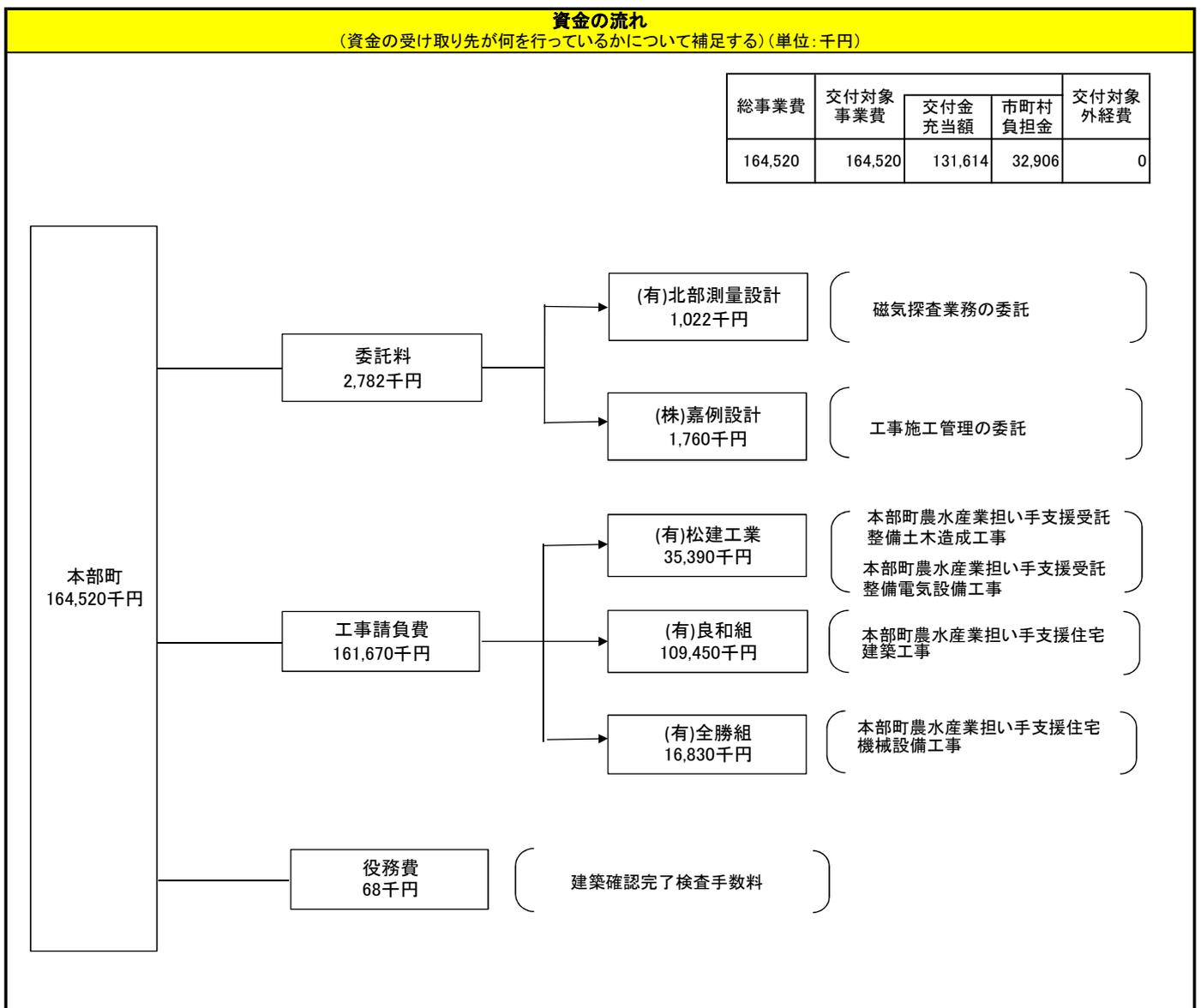
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
72,396	72,396	56,320	16,076	0



資金の流 れ、費目 の点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○指名競争入札について、委託先及び請負者を決定している。 ○予算規模については、事業費の圧縮や入札残を計画変更で減額しており適正である。 ○費目・使途については、精算段階で検査を行い事業に即したものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	本部町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	農水産業担い手支援住宅整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-工			
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	令和元～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	農水産業の新たな担い手確保のため、新規就業者向けの住宅を整備し、経営が安定するまでの期間の支援を行うことで産業振興及び定住促進の推進を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,226	42,572	—	210,287	
	(b) 予算現額	7,150	28,237	—	164,521		
	(c) 増減額(b-a)	▲76	▲14,335	—	▲45,766		
	(d) 繰越額	—	—	12,994	—		
	A. 計(b+d)	7,150	28,237	12,994	164,521		
	B. 執行済額	7,150	13,975	12,991	164,520		
	うち交付金充当額	5,720	11,180	10,392	131,614		
	次年度繰越額	—	12,994	—	—		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	49.5%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明	前年繰越および本年度予算について、計画通り執行することができた。予算の減額については、工事内容の精査及び実績によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	建築工事の実施	目標	(工事実施)	()	()	()	
		実績	工事実施				
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	用地購入手続後、8月には全工事を発注することができ、適切な工期を確保することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(R4年度)	
	建築工事の完了	目標	() (建築工事の完了)	()	()	()	
		実績	建築工事の完了				
	【R4成果目標】 農水産業新規従事者入居戸数:4戸	目標	() ()	()	()	()	
実績							
進捗状況説明	用地購入の手続きや擁壁の位置の変更、2月の長雨による工事の遅延も発生したが年度内に工事を完了することができた。R4年成果目標達成に向け、周知活動や入居者選考を行っていく。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・農業及び漁業の新たな担い手(入居者)の定住・定着には、経営の安定化が必要となるため、経営状況等の確認及びフォローアップが重要となる。</p>	<p>新たな担い手に対する支援は、経営の指導から栽培技術の向上などを総合的に行う必要があることから、関係機関との連携して支援を行っていく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・入居者の経営状況の把握に努め、必要に応じて沖縄県や本部町農業委員会、本部漁業協同組合等の関係機関と連携して、就農講座等の研修や経営指導を行うことで経営が定着しやすい環境の整備を図る。</p>		

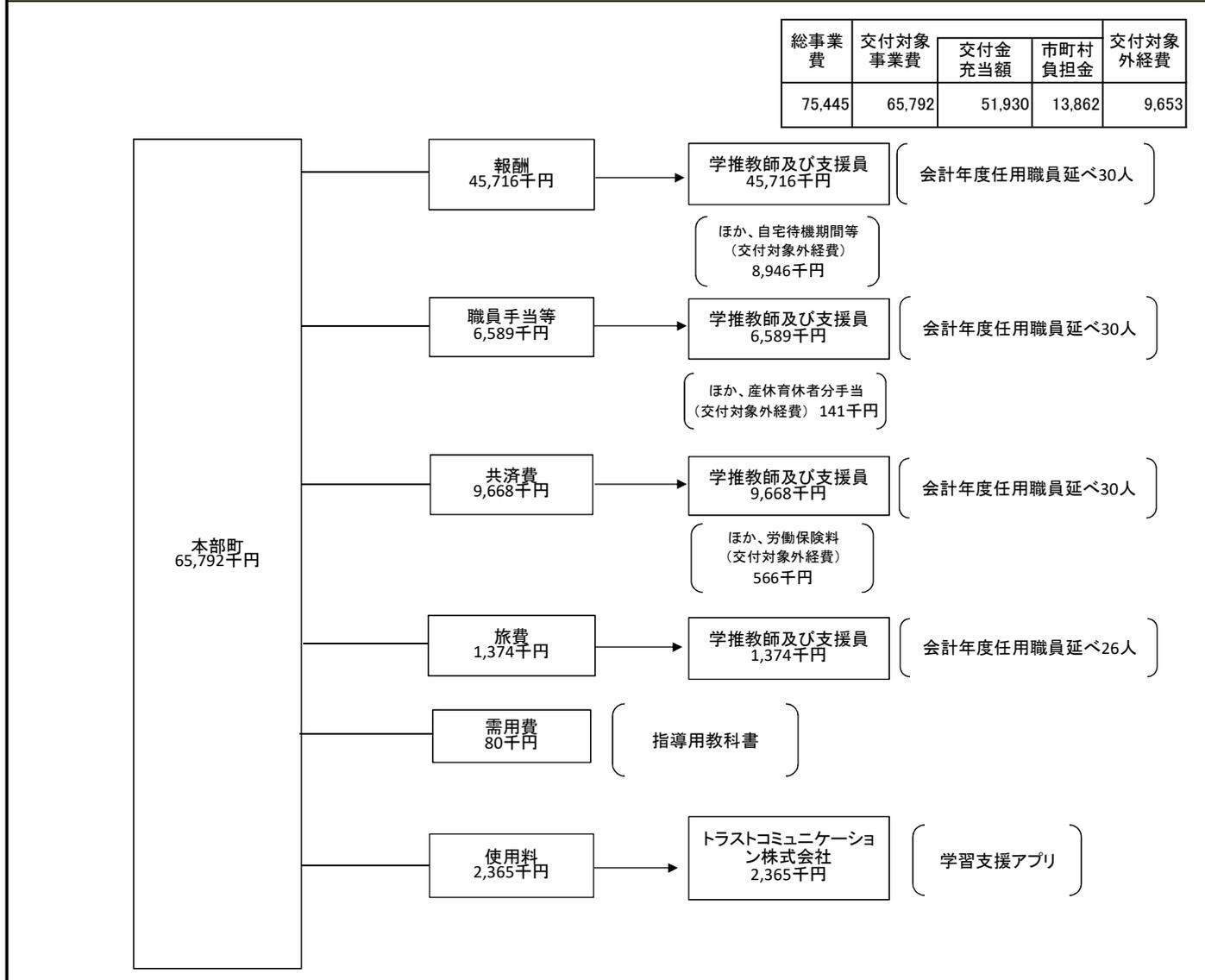


資金の 使途の 流れ 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託及び工事業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であると考えます。 ○事業内容に沿った予算規模となっているため妥当である。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	本部町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 本部町学力向上学習支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進		
事業内容	町内小中学校に学習支援員を配置し、国語、算数、数学、英語及びその他の主要教科において、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、学力の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	35,636	35,172	74,222	76,410	73,768
		(b) 予算現額	34,575	35,172	74,222	65,327	64,913
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,061	0	0	▲ 11,083	▲ 8,855
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		34,575	35,172	74,222	65,327	64,913
	B. 執行済額		33,289	33,237	63,837	64,645	65,792
	うち交付金充当額		26,631	26,589	51,069	51,716	51,930
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.3%	94.5%	86.0%	99.0%	101.4%
予算の状況の説明		予算の減額については、新型コロナウイルス感染症による自宅待機期間発生等による勤務実績によるもの。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	町立小学校 4校へ配置	目標	(5校)	(5校)	(4校)	(4校)	
		実績	5校	5校	4校	4校	
	町立中学校 3校へ配置	目標	(2校)	(3校)	(3校)	(3校)	
		実績	2校	3校	3校	3校	
達成状況説明	小学校5校へ18名(学力向上推進教師9名、学習生活支援員9名)、中学校3校へ10名(学力向上推進教師5名、学習生活支援員5名)の支援員配置を行い、授業中の支援、放課後の補習、夏休み期間中の地域学習教室の開催といった学習支援を行い、学力の向上を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	令和3年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -4.9ポイント以上	目標	()	(-6.9)	(-6.6)	(-4.9)	()
		実績		-7.29	-4.28	-9.4	
	令和3年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 中学校 -4.1ポイント以上	目標	()	(-2.5)	(-4.5)	(-4.1)	()
		実績		-3.10	-6.93	-4.22	
	進捗状況説明	沖縄県学力到達度調査における正答率の県平均と本町との差は、 ・小学校 -9.4ポイント(国語・算数(5~6年)) ・中学校 -4.2ポイント(国語・数学・英語(1~2年)) となり、小学校中学校ともに目標達成に至らなかった。なお、令和3年度の学力到達度調査で実施のあった科目で実績を算出した。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	①当初目標を下回った要因として、基礎学力の定着が不十分であったことが考えられる。 ②新型コロナウイルスの感染拡大により、自宅待機となる児童生徒が増加している。	①基礎学力となる四則演算や読解力の強化を行い、応用問題への正答率の向上を図る必要がある。 ②新型コロナウイルス感染により長期欠席になった児童生徒に対して、授業の遅れを取り戻すため補習強化を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
①学力に遅れがみられる、授業に集中できない等の児童生徒への支援を強化し、全体的な学力の底上げを図る。 ②新型コロナウイルスにより長期欠席した児童生徒には、復帰時の個別指導や放課後の補習等を行い、授業に取り残される状況を防ぐ。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学習支援員の雇用は条例、規則に則りなされており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○学習支援アプリは入札を行い契約した。友寄商事は町内で唯一の教科書取扱書店に指定されており、随意契約を行った。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○休暇・休校に伴う補正減や不用額が生じているが、予算規模は事業内容に見合った適正な規模である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・用途の必要性及び執行状況を確認しており適正である。

市町村名		本部町									
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	3-②	特別支援教育環境充実事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ					
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進 Ⅲ-3-(1)					
事業内容	特別な支援を要する園児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、個々に応じた適切な支援を行うことにより対象児童生徒の学校生活や学習支援上の困難の改善を図る。										
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)										
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		R3年度	
		(a)当初予算額	37,666	33,082	33,082	18,703	20,652	21,769			
		(b)予算現額	29,923	33,082	15,885	19,423	21,382				
		(c)増減額(b-a)	▲7,743	0	▲2,818	▲1,229	▲387				
		(d)繰越額	—	—	—	—	—				
		A.計(b+d)	29,923	33,082	15,885	19,423	21,382				
		B.執行済額	28,765	31,294	15,885	19,309	21,639				
		うち交付金充当額	23,012	25,035	12,708	15,447	17,105				
		次年度繰越額	0	0	0	0	0				
		執行率(%) (B/A)	96.1%	94.6%	100.0%	99.4%	101.2%				
予算の状況の説明	雇用実績及び新型コロナウイルスによる自宅待機期間等が発生したことによる予算の減額を行った。										
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況								
	特別支援教育支援員 8名配置	目標	(小学校10名 中学校4名 幼稚園4名)	(小学校1名 幼稚園7名)	(小学校1名 幼稚園7名)	(中学校1名 幼稚園7名)					
		実績	小学校10名 中学校4名 幼稚園4名	小学校1名 幼稚園6名	小学校1名 幼稚園7名	中学校1名 幼稚園7名					
	スクールソーシャルワーカー 2名配置	目標	(1名)	(2名)	(2名)	(2名)					
		実績	1名	2名	2名	2名					
	達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・本部中学校1名、本部幼稚園4名、上本部幼稚園1名、瀬底幼稚園1名、伊豆味幼稚園1名の計8名を配置した。 ・各支援員が、支援を要する園児児童に対し、校長、教頭、学級担任等と支援検討を行いながら対応した。 ・スクールソーシャルワーカーを2名雇用し、各学校を巡回しながら支援を要する園児児童生徒及び家庭の情報を収集し、支援にあたった。 									
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)				
	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()				
		実績		83%	94%	92%					
	目標	()	()	()	()	()					
	実績										
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対するアンケートによる検証を行った結果、「特別な支援が必要な子どもに対し、丁寧な支援を行っているか」との設問に92%の保護者から肯定的な回答を得た。 ・アンケートの結果から、支援を要する園児児童に対する活動において、保護者から高い評価を得ていることが確認できた。 										

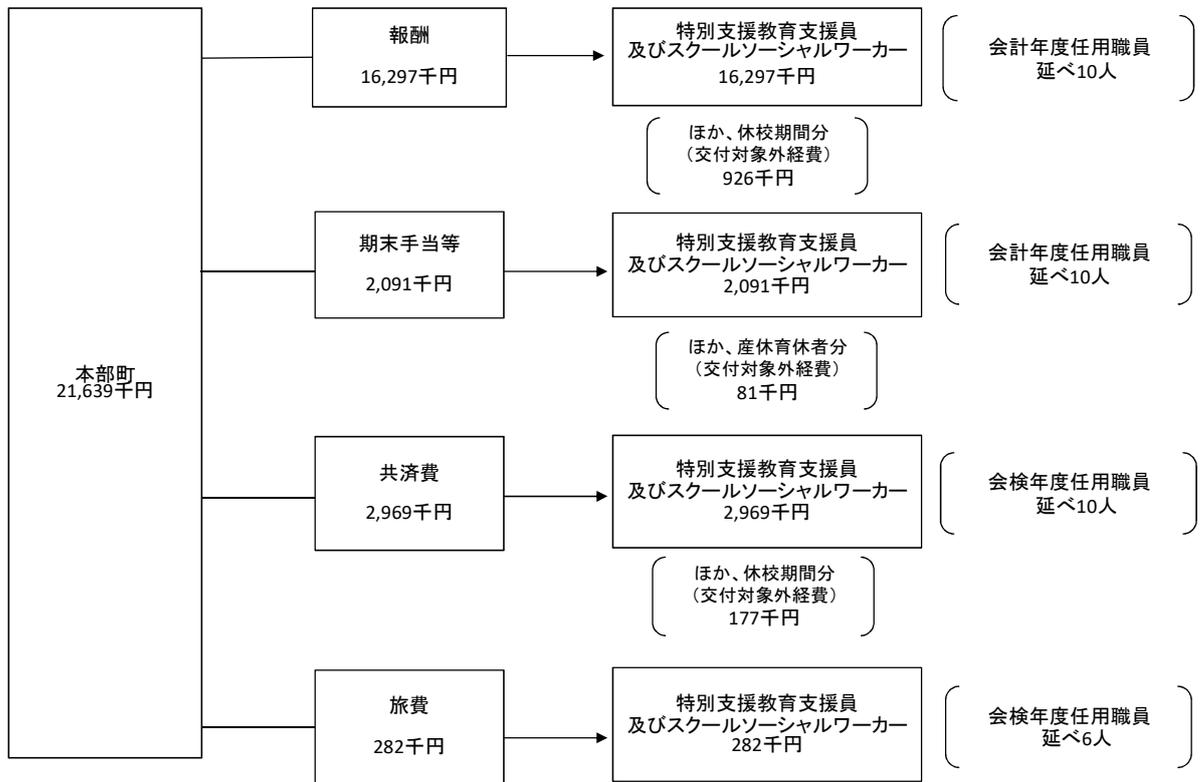
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>①特別支援教育支援員が、支援を要する園児児童に対し適切な支援を行えたこと、スクールソーシャルワーカーの定着により目標値達成できたと考えられる。また、支援員の経験値が積み重ねられてきたことにより効果的な支援につながっている。</p> <p>②欠員が発生せず、当初計画の支援員配置数を満たすことができた。</p>	<p>①入園前であっても保育所等と連携し、支援が必要な園児等の情報を収集することで、より円滑に支援が行えるよう努める。</p> <p>②経験が浅い新規採用職員には、適宜研修会や情報交換を行い、適切な支援が行えるよう指導する。</p>

今後の取り組み方針

- ・支援員同士の意見交換・研修会を行い、より良い教育環境を構築するよう努め、保護者の満足度を高める。
- ・他市町村からの転入・幼稚園への入園の際に、特別な支援が必要な児童がいた場合には、早期の情報収集に努め、支援員の増員や学校との連携の強化を行い、児童の個性の把握に努め個々に合った支援を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付対象事業費		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
22,823	21,639	17,105	4,534	1,184



資金の流 れ、点 検 評 価 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員及びSSWの雇用は、条例及び規則に基づき実施している。 ○雇用実績に伴う補正減があるものの、予算規模は事業内容に見合った適正な規模であった。 ○費用・使途については、出勤日数、休暇処理、日給、保険料計算のための月額報酬等を確認の上、目的に即した必要な支出であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	